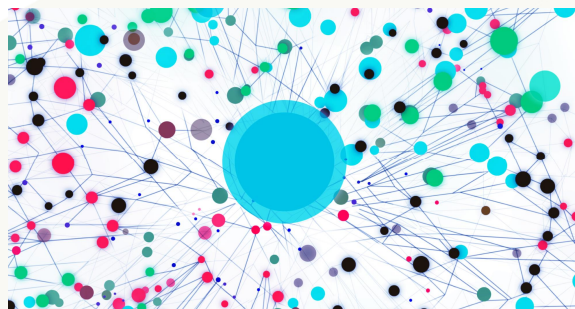




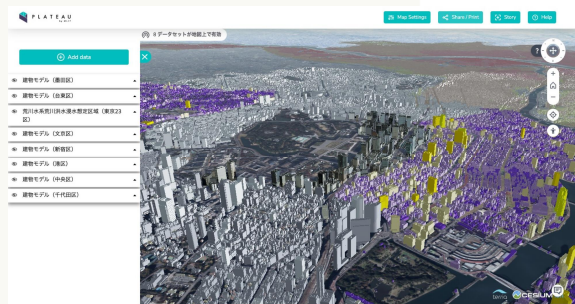
## Project PLATEAU（プラトー）とは



PLATEAU(プラトー)は2020年度に国土交通省都市局がスタートしたプロジェクトです。

その狙いは、スマートシティをはじめとしたまちづくりのデジタル・トランスフォーメーションを進め、**人間中心の社会を実現すること**にあります。PLATEAUでは、**その基盤となる3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化**を推進しています。

## 3D都市モデルとは



3D都市モデルとは、建築物、道路、土木構造物等の**現実の都市に存在する様々なオブジェクトの三次元形状と意味情報をパッケージとして記述した地理空間データ**です。国土交通省都市局により標準データモデルが定められています。

これまでの三次元データとは異なり、①建築物の用途や建築年といった**意味情報を保持可能**、②**データ連携やソフトウェア連携が円滑**、③自治体保有データから**効率的に整備可能**、④地域の課題に応じて**保持情報をカスタマイズ可能**といった特徴があります。

## 3D都市モデルの提供価値



### ビジュアライズ（視覚性）

都市空間を立体的に認識可能となり、説明力や説得力が向上

### シミュレーション（再現性）

立体情報を持った都市空間をサイバー上に再現することで、幅広く、精密なシミュレーションが可能

### インタラクティブ（双方向性）

フィジカル空間とサイバー空間が相互に情報を交換し作用し合うためのプラットフォームを提供

3D都市モデルの多様な提供価値を活かすことで、防災、まちづくり、環境、モビリティ、防犯、健康など**様々な分野における地域課題の解決に役立つユースケースを開発することが可能**です。

# 1. 都市空間情報デジタル基盤構築支援事業について

## 3D都市モデルの支援制度が創設されました

令和4年度に創設された「都市空間情報デジタル基盤構築支援事業」（本補助事業）は、全国の地方公共団体がPLATEAUに参画し、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進するための補助制度です。

小規模な基礎自治体から都道府県単位まで地域の実情に応じた多様な範囲、費用、内容を支援可能です。また、地方公共団体のご担当者様や受託事業者様を対象とした3D都市モデルの企画支援や技術支援等もあわせて実施しています。デジタル技術の活用の不慣れなご担当者様であっても都市局やそのパートナー企業からの充実した伴走支援を受けることが可能です。

全国の地方公共団体における3D都市モデルの更なる早期社会実装を後押しするため、通常タイプ（1/2補助）、早期実装タイプ（定額補助・初年度のみ）と多様なメニューを設けていますので、活用をご検討ください。

### 「都市空間情報デジタル基盤構築支援事業」ポータルサイト

[https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/plateau\\_hojo.html](https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/plateau_hojo.html)

#### 支援内容

補助対象：都道府県、市区町村

補助率：【通常タイプ】 1/2

【早期実装タイプ】 10/10（定額補助、上限1,000万円）

※1,000万円を超える事業費は地方負担となる

#### 主な補助対象

##### 3D都市モデルの整備・更新

3D都市モデルの整備、3D都市モデルの整備に必要な都市計画基本図等の元データの整備・デジタル化、既存のGISの改修、3D都市モデルの維持管理・オープン化等に必要なシステム整備等

##### 3D都市モデルを活用したユースケースの実装経費

3D都市モデル活用したユースケースの実装に必要なシステム開発、実証調査、データ収集、ウェブサイト運営等

※詳細な対象事業は交付要綱等をご参照ください。

## 活用事例は全国に広がっています

これまで全国196都市において3D都市モデルの整備・活用が進められています。令和6年度には約60団体で整備・更新・活用が行われ、年度末には約250都市に広がる予定です。



東京都デジタルツイン実現プロジェクト  
（東京都）



くらしマップおかや（岡谷市）

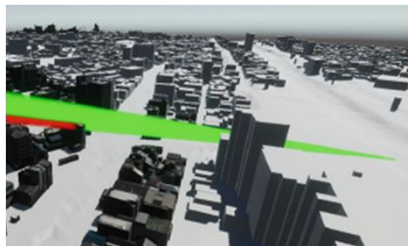


3D都市モデル×Minecraft（札幌市）

# 1. 都市空間情報デジタル基盤構築支援事業について

## 令和6年度の取組み

令和6年度は、57の都道府県、市町村の事業を採択し、多様な分野で3D都市モデルを社会実装していきます。



景観計画の見直し



火災延焼シミュレーションの高度化



太陽光発電ポテンシャルの推計

## 令和6年度採択事業一覧（詳細は今後共有していきます）

カテゴリー	自治体名	主な活用目的・活用事業（計画）	カテゴリー	自治体名	主な活用目的・活用事業（計画）
防災・防犯	盛岡市	3D都市モデルを活用した水災害リスク可視化事業	都市計画・まちづくり	宮古市	3D都市モデルを活用したまちづくり都市計画立案への活用事業
	大館市※	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業		仙台市	中心部まちづくり方針の意見聴取及び合意形成
	福島市	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業		宇都宮市	3D都市モデルを活用したまちづくりシミュレーション
	埼玉県	3D/バーチャルマップの作成と公開		前橋市	3D都市モデルを活用したデジタルツイン環境構築事業
	東京都	デジタルツインを活用した水害シミュレーション		熊谷市	3D都市モデルを活用したまちづくり可視化事業
	板橋区	3D都市モデルを活用した延焼シミュレーション		千葉市	3D都市モデルを活用した千葉駅周辺の活性化事業
	東村山市	前川氾濫解析 3D可視化事業		中央区	3D都市モデルを活用したにぎわい創出方策の検討・可視化
	相模原市	3D都市モデルを活用した延焼シミュレーターの高度化		台東区	3D都市モデルを活用したまちづくり・施策検討
	岐阜市	3D都市モデルを活用した内水浸水対策検討及び効果の可視化事業		八王子市※	3D都市モデルを活用した市民意見の収集と見える化
	静岡県	砂防施設の堆砂状況の分析・可視化事業		鎌倉市	3D都市モデルを活用した都市マスタープラン改定事業
	伊勢市※	3D都市モデルを活用した水害リスクの可視化及び時系列浸水シミュレーション		安曇野市	3D都市モデルを活用した都市計画等情報マップ作成事業
	滋賀県※	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業		大垣市※	3D都市モデルを活用したワークバルな歩行空間の形成事業
	河内長野市	災害リスク・避難路の可視化及び災害発生時の被災状況の共有		豊橋市	熱環境と人流データの可視化・分析事業
	東大阪市	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業		京都市	3D都市モデルを活用した推進プラットフォーム整備
	和歌山市	3D都市モデルを活用した通学路交通安全プログラムの高度化事業		池田市	3D都市モデルを活用した駅前再整備ビジョンの可視化事業
	米子市	観音寺地区における浸水区域の可視化及び避難ルートの検討		松江市	3D都市モデルを活用したまちづくり関連施策検討事業
	隠岐の島町※	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化、防災教育活用事業		益田市※	3D都市モデルを活用した人流情報活用事業
	海田町※	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業		岡山市	3D都市モデルを3Dビューワによる街の可視化事業
	いの町※	時系列浸水シミュレーションデータ・土石流シミュレーションの作成		倉敷市※	景観まちづくりDX
	福岡市	3D都市モデルを活用したハザードマップの3D化		竹原市※	公共施設ゾーン再整備検討事業
鳥橋市	3D都市モデルを活用した災害リスク（洪水/ハザード）可視化事業	周南市	3D都市モデルを活用した都市計画情報可視化事業		
波佐見町	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視化事業	さぬき市	3D都市モデルを活用した都市構造の可視化事業		
玉名市	3D都市モデルを活用した土砂災害リスク対応策の構築	東温市	地区開発シミュレーションを活用したまちづくり都市計画立案への活用		
環境・エネルギー	狛江市	3D都市モデルを活用した太陽光発電ポテンシャル分析事業	古賀市	3D都市モデルを活用した交通解析利活用事業	
	高岡市	太陽光発電の可視化によるカーボンニュートラルの推進	うきは市	3D都市モデルを活用した景観保存・整備事業	
	大阪市	業務ビルにおけるCO2削減シミュレーション	松浦市※	3D都市モデルを活用した都市計画情報の可視化事業	
地域活性化・観光・コンテンツ	さいたま市	マインクラフトワールドデータ作成及びコンテスト開催	南さつま市※	3D都市モデルを活用したまちづくりの都市計画立案への活用事業	
	広島県※	3D都市モデルを活用した賑わい創出	四日市市	3D都市モデルを活用した埋蔵文化財の可視化事業	
			その他	堺市	3D都市モデルを活用した盛り等現地調査管理の効率化

## 3D都市モデル整備都市（赤字は令和6年度新規整備予定の都市）

※早期実装タイプとして採択

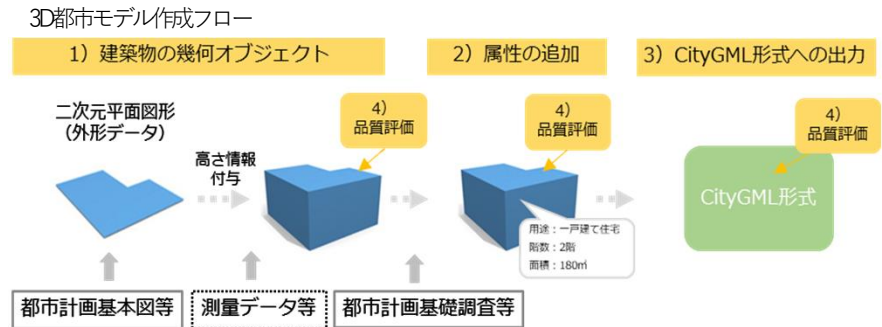
北海道	加須市	昭島市	相模原市	伊東市	豊田市	太地町	福岡市
札幌市	春日部市	調布市	横須賀市	島田市	安城市	鳥取県	大牟田市
室蘭市	越谷市	町田市	鎌倉市	富士市	日進市	鳥取市	久留米市
更別村	赤市	小金井市	鎌倉市	富山市	三重県	米子市	飯塚市
青森県	赤市	小平市	厚木市	焼津市	四日市市	境港市	宗像市
むつ市	志木市	日野市	箱根町	掛川市	伊勢市	日吉津村	古賀市
岩手県	赤市	東村山市		藤枝市	熊野市	島根県	うきは市
盛岡市	赤市	国分寺市	新潟県	御殿場市	滋賀県	松江市	筑前町
宮古市	赤市	国立市	新潟市	袋井市	長浜市	益田市	佐賀県
宮城県	赤市	福生市	長岡市	下田市	京都市	隠岐の島町	鳥栖市
仙台市	赤市	狛江市	高岡市	裾野市	京都市	岡山市	武雄市
秋田県	赤市	蓮田市	高岡市	湖西市	大阪府	岡山市	小城市
大館市	赤市	吉川市	高岡市	伊豆市	大阪市	岡山市	大町町
福島県	赤市	幸手市	石川県	御前崎市	堺市	備前市	江北町
福島市	赤市	鶴岡市	金沢市	菊川市	豊中市	広島県	白石町
郡山市	赤市	伊奈町	加賀市	伊豆の国市	池田市	広島市	長崎県
いわき市	赤市	白岡市	甲府市	牧之原市	高槻市	呉市	佐世保市
白河市	赤市	三芳町	長野県	東伊豆町	河内長野市	竹原市	松浦市
相馬市	赤市	毛呂山町	松本市	津市	和泉市	福山市	波佐見町
南相馬市	赤市	杉戸町	羽村市	南伊豆町	宮原市	府中市	熊本県
茨城県	赤市	杉戸町	松本市	松崎町	羽曳野市	海田町	熊本市
つくば市	赤市	奥多摩町	大島町	西伊豆町	摂津市	山口県	荒尾市
鉾田市	赤市	奥多摩町	大島町	函南町	東大阪市	周南市	玉名市
境町	赤市	奥多摩町	大島町	清水町	志岡町	徳島県	益城町
栃木県	赤市	奥多摩町	大島町	長泉町	兵庫県	徳島市	大分県
宇都宮市	赤市	奥多摩町	大島町	長泉町	姫路市	徳島市	日田市
群馬県	赤市	奥多摩町	大島町	長泉町	加古川市	香川県	吉井市
前橋市	赤市	奥多摩町	大島町	長泉町	三木市	高松市	宮崎県
桐生市	赤市	奥多摩町	大島町	長泉町	朝来市	さぬき市	延岡市
館林市	赤市	奥多摩町	大島町	長泉町	たつの市	愛媛県	鹿児島県
埼玉県	赤市	奥多摩町	大島町	長泉町	奈良県	松山市	南さつま市
さいたま市	赤市	奥多摩町	大島町	長泉町	和歌山県	高松市	那覇市
熊谷市	赤市	奥多摩町	大島町	長泉町	和歌山県	高松市	
川口市	赤市	奥多摩町	大島町	長泉町	和歌山県	高松市	
所沢市	赤市	奥多摩町	大島町	長泉町	和歌山県	高松市	
鴻巣市	赤市	奥多摩町	大島町	長泉町	和歌山県	高松市	

## 2. 3D都市モデルの導入検討のポイント

### 3D都市モデルは市内の既存データを活用して効率的に整備できます

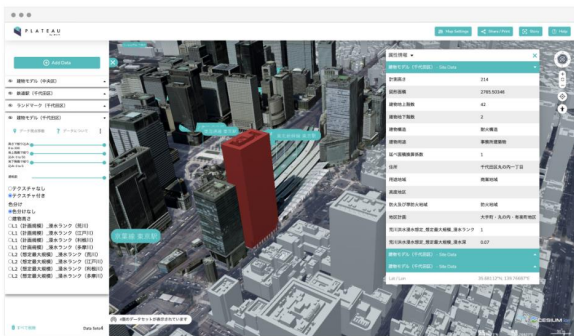
3D都市モデルは、主に地方公共団体が保有する①都市計画基本図等の2D地図データ、②公共測量等によって取得された航空測量データ、③都市計画基礎調査データの3つを利用して作られています。

元データの取得費が不要であるため、効率的に3D都市モデルを整備することができます。



### ウェブ上で実際のデータやユースケースを体験することができます

#### PLATEAU VIEW

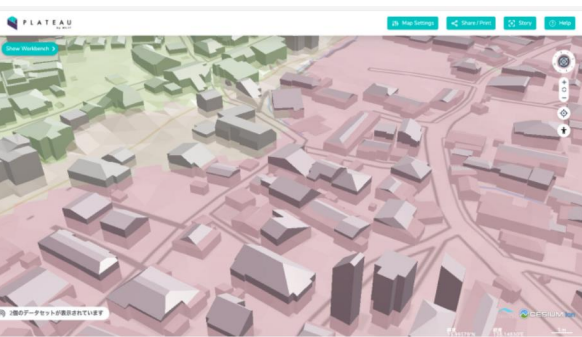


PLATEAUウェブサイトでは、3D都市モデルをプレビューするためのブラウザベースのWebアプリケーション「PLATEAU VIEW」を公開しています。

PLATEAU VIEWでは、これまで整備されてきた約200都市の3D都市モデルや、災害リスク情報などのユースケースデータを閲覧することができます。

市内PCからも閲覧可能となっており、地方公共団体ご担当者様が3D都市モデルの具体的なイメージを把握するために役立てることが可能です。

その他、PLATEAUウェブサイトではこれまで開発してきたユースケースのレポートなども公開しています。こちらもユースケースを検討される際の参考情報として利用可能です。



#### ユースケース紹介

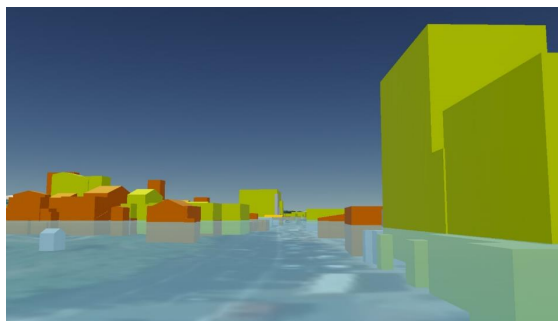


PLATEAUウェブサイト <https://www.mlit.go.jp/plateau/>  
PLATEAU VIEW <https://plateauview.mlit.go.jp/>

# 3. 3D都市モデルの活用事例の紹介

Project PLATEAUでは、これまで地方公共団体、民間企業、大学・研究機関とパートナーリングを行い、多様な分野でユースケースを開発してきました。

## 防災分野

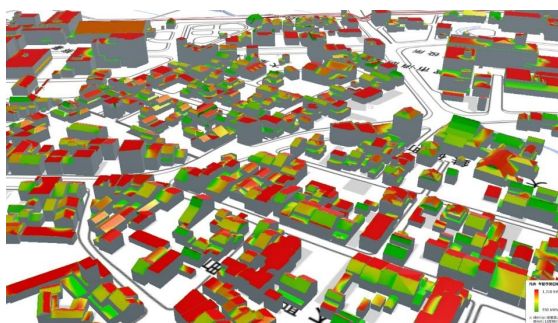


### 垂直避難可能な建築物の可視化等を踏まえた防災計画検討

3D都市モデルの建築物と災害リスク情報（洪水浸水想定区域図）を三次元的に分析し、建物の高さ、用途、構造等の情報を利用して最大浸水深のときに最上階が浸水しない建物を垂直避難可能な建築物としてピックアップし、防災政策に活用。

成果の紹介：  
<https://www.mlit.go.jp/plateau/use-case/disaster-management/2-002/>

## 環境・エネルギー分野



### 太陽光発電のポテンシャル推計及び反射シミュレーション

3D都市モデルが持つ屋根形状や傾き、周辺建物の日陰等を考慮した建物ごとの年間予測発電量の推計及び太陽光発電パネルを設置した場合の反射シミュレーションを開発し、都市内の太陽光発電普及に向けた施策検討にあたってのエビデンスとして活用。

成果の紹介：  
<https://www.mlit.go.jp/plateau/use-case/smart-planning/3-006/>

## 観光・地域活性化分野

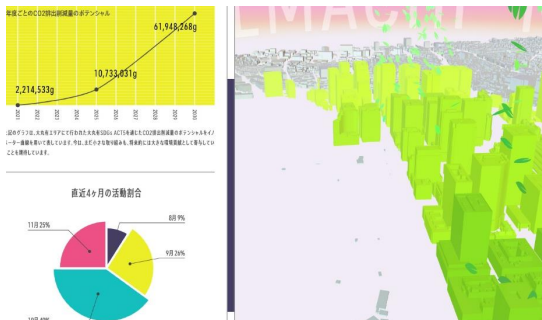


### XRを活用した観光バスツアー

3D都市モデルを活用し、XR（ARやVR）上で都市を舞台とした映像コンテンツを制作。オープントップバスと組み合わせたXRバスツアーのサービスを開発し、観光コンテンツとして提供。既存の観光資源とデジタル技術の掛け合わせによる新たな観光資源を開発。

成果の紹介：  
<https://www.mlit.go.jp/plateau/new-service/4-010/>

## まちづくり分野



### 大丸有 Area Management City Index (AMCI)

3D都市モデルをベースにエリアマネジメントに関する活動データや効果指標データ、人流データ等を重ね合わせるウェブアプリを開発。エリアマネの活動状況や成果を俯瞰的・継続的に発信することで、エリア内の企業や個人にエリアマネジメントへの参画を促進。

成果の紹介  
<https://www.mlit.go.jp/plateau/new-service/4-009/>

多数の事例をPLATEAUウェブサイトの「Use Case」等で紹介しています。ぜひご覧ください。  
<https://www.mlit.go.jp/plateau/>

# 4. 3D都市モデル導入のためのガイドブックについて

## 充実したドキュメント類により、安定した品質での発注が可能です。

PLATEAUウェブサイトでは、地方公共団体ご担当者様の発注業務を支援するため、3D都市モデルの導入ガイダンスや標準製品仕様等のドキュメントを多数公開しています。

(<https://www.mlit.go.jp/plateau/libraries/>)

測量会社やGISベンダー、ITコンサル等にご相談される際の参考資料や勉強用資料としても利用可能です。

## Handbooks

3D都市モデル導入のためのガイドブック

### 3D都市モデルの導入ガイダンス

Guidance on the Installation for 3D City Model

地方自治体担当者や民間事業者等に向けた 3D都市モデル導入のためのガイダンス

第4.0版

Publication Date: 2024.4.8

Download: 21.4MB

PDF



### 3D都市モデル標準製品仕様書

Standard Data Product Specification for 3D City Model

国際標準規格であるCityGMLによる3D都市モデル整備のための標準製品仕様

第4.0版

Publication Date: 2024.3.29

PDF

HTML

### 3D都市モデル標準作業手順書

Standard Implementation Procedures for 3D City Model

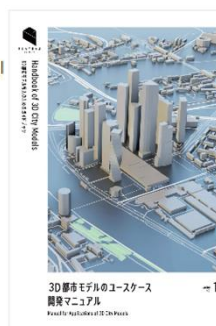
国際標準規格であるCityGMLによる3D都市モデル整備のための標準作業手順

第4.0版

Publication Date: 2024.3.29

PDF

HTML



### 3D都市モデルのユースケース開発マニュアル

ユースケース開発のための基本的考え方・事例紹介・技術導入手順等のマニュアル

第4.0版

Publication Date: 2024.4.4

Download: 31.5MB

PDF

## Technical Reports

3D都市モデル活用のための技術資料



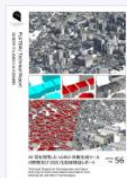
2023.4.4 — Data

### 短周期かつ効率的な3D都市モデルの更新手法 技術検証レポート

短周期かつ効率的な3D都市モデルの更新手法の技術資料（2022年度）

Download: 9.1MB

PDF



2023.4.4 — Data

### AI等を活用したLOD2自動生成ツールの開発及びOSS化 技術検証レポート

AI等を活用したLOD2自動生成ツールの開発及びOSS化の技術資料

Download: 11.6MB

PDF

# 5. 3D都市モデルの導入に向けたサポート体制について

## 3D都市モデルに関するご質問・ご相談に対応します

令和7年度以降の「都市空間情報デジタル基盤構築支援事業」活用にご関心のある地方公共団体ご担当者様に向けて、ユースケースの企画立案、資料作成、事業者紹介、最新技術動向紹介などの相談窓口を開設しました。「まずは概要を聞かせてほしい」といった内容でも歓迎ですので、ぜひお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先：令和6年度支援事務局（検討団体支援チーム）  
株式会社三菱総合研究所（受託事業者） 三宅・坂井  
[plateau\\_support@mri.co.jp](mailto:plateau_support@mri.co.jp)（TEL：03-6858-3697）

## 都市空間情報デジタル基盤構築支援事業の令和7年度活用団体の募集について

下記のスケジュールにて、本補助事業の令和7年度活用団体を募集します。募集のご案内は今後地方整備局等を経由して全国の地方公共団体様向けに送付しますので、ぜひ活用をご検討ください。

併せて、「3D都市モデルとは何か?」、「どのように使えるのか?」、「どれくらいコストがかかるのか?」等の疑問にお答えするため、地方公共団体ご担当者様に向けた説明会（下記①）やイベント・支援（下記②）を随時開催します。事業実施を検討される際はこれらに参加頂くとともに、概算要望調査に登録頂き国土交通省都市局・支援事務局とともに内容のブラッシュアップを進めた上で、本要望を経て事業実施することになります。

### 概算要望調査①

6～7月  
第1回R7事業概算要望調査  
6月  
第1回補助事業説明会

### 概算要望調査②

9～10月  
第2回R7事業概算要望調査  
10月  
第2回補助事業説明会

### 本要望調査

12～1月  
R7事業の本要望調査  
3～4月  
R7事業の内示・着手

### 採択・実施

課題解決や検討内容のヒアリング・ブラッシュアップ  
(新規団体中心)

整備・活用内容や金額の精査 (全団体)

※ 各種要望調査期間及びイベント開催日程は決まり次第お知らせします。

## ① 3D都市モデルの整備・活用に関する説明会

本補助事業活用にご関心のある地方公共団体向けの説明会を開催します。PLATEAUの基礎、本補助事業の内容、地方自治体による実際の活用事例、民間企業との協業のポイント等を解説予定です。

開催の案内は地方整備局等を通じて全国の地方公共団体に送付します。特に令和7年度の事業実施を検討される場合は6月の説明会にご参加ください。

過去の説明会資料の一部は補助事業ポータルサイトに掲載しています。

## ② PLATEAUコンソーシアム

これまでの産官学連携の取り組みを更に発展させるため「PLATEAUコンソーシアム」が2023年11月に設立されました。

3D都市モデルの発展に向けた様々な論点を討議する他、PLATEAU参画団体の事例共有や、3D都市モデルに関心のある地方公共団体のニーズと民間企業のシーズのマッチング支援等を行っています。

入会方法等は下記ウェブサイトをご確認ください。

PLATEAUウェブサイトのコンソーシアム紹介ページ  
<https://www.mlit.go.jp/plateau/consortium/>

お問い合わせ先  
国土交通省都市局国際・デジタル政策課デジタル情報活用推進室  
[hqt-mlit-plateau@ki.mlit.go.jp](mailto:hqt-mlit-plateau@ki.mlit.go.jp)（TEL：03-5253-8397）